

都庁ライトアップ

世界糖尿病デー11月14日



現在、世界中で糖尿病患者が急増しています。国連は「糖尿病の脅威に関する啓発活動を推進するための決議」をしました。そして、その一環としてインスリンの発見者であるバンチング博士の誕生日(11月14日)を「世界糖尿病デー」に設定しました。

長い間、糖尿病は原因の分からない不治の病で、それまで多くの人の命が失われました。糖尿病治療の夜明けは、やがて1921年にバンチングとベストによるインスリンの発見によりもたらされました。犬から膵臓を抽出すると糖尿病犬になり

ます。この犬に膵臓から抽出したものを注射したところ、血糖値が下がり糖尿病が良くなりました。この物質をインスリンと名付けたのです。この発見により、バンチング博士はノーベル医学賞を受賞しました。その発見から半年後に、1型糖尿病の少年にインスリンを注射したところ、病状が劇的に改善されました。以来、糖尿病治療の新しい時代が到来したのです。

11月14日の「世界糖尿病デー」には、日本はもとより世界各地で、さまざまな行事が行われています。東京(新宿)でも、「世界糖尿病デー ブルーライトアップ in 東京」が、次の要項で開催されました。

昨年の第1回「世界糖尿病デー」では東京タワーがライトアップされましたが、今年には、それに加えて東京都庁もブルーにライトアップされました(写真)。

◆実行委員長挨拶 岩本安彦先生

◆挨拶 東京都医師会 内藤裕郎先生

東糖協会長 菅原正弘先生

◆「世界糖尿病デー ブルーライトアップ in 東京」によせて

日本糖尿病学会常務理事 田嶋尚子先生

日本医師会常任理事 今村 聡先生

東京都福祉保健局部長 住友眞佐美先生

◆講演 日本糖尿病学会理事長

門脇 孝 先生

平成21年度の歩く会

平成21年度の歩く会が決まりました。会員の皆様や、ご家族の皆様のご参加をお待ちします。



日付	場所	担当者	青空教室講師
4月12日(日)	旧古河庭園&飛鳥山公園(北区)	牧野 昌治 黒澤 宮雄	林 洋一 先生 (日大板橋病院)
5月10日(日)	根津神社&東大内(文京区)	亀山 芳治 秋吉 眞礼	高村 宏 先生 (高村内科)
6月14日(日)	品川区民公園(品川区)	高橋 一征 花島 実	辻野大助 先生 (慈恵医大病院)
9月27日(日)	葛西臨海公園ウォークラリー(江戸川区)	真砂慶一郎 正木 愛一 大越 松司	林 道夫 先生 (NTT東日本関東病院)
10月25日(日)	多摩川台公園(大田区)	大林 仁保 谷村 幸雄	黒木宏之 先生 (城西病院)

編集後記

東京都糖尿病協会会報第2号は、創刊号から半年後の3月15日付で発行でき喜んでおります。

今回の内容は、「歩く会・バスの旅・ブロック糖尿病教室、患者と主治医の二人三脚」は創刊号と同様です。

しかし爽りの秋にふさわしく、この期間中には糖尿病予防講演会(武蔵野市・前進座劇場)、糖尿病週間講演会(九段会館)、協会表彰者紹介、新宿小田急デパートの医療相談など、沢山の行事が実施されました。

限られた紙面という制約がありますので、掲載させて頂いた記事以外にも、貴重な原稿がありました。編集という仕事の大変さを痛感しました。

私どもは、創刊号・第2号と会報づくりを続ける中で、貴重な勉強をさせていただきましました。これからも、親しみやすく、より良い会報の発行をめざしていきます。

担当・黒澤 宮雄(編集委員)

編集委員

編集委員長

- (医師) 相磯 嘉孝
- (医師) 加藤 光敏
- 大越 松司
- 黒澤 宮雄
- 高橋 一征
- 田辺 達也
- 田和 允宏